



GC-JN Rio+20取組

2012年7月12日
GC-JN 事務局

Rio+20(持続可能な開発に関する国連会議)とは
: 1992年のリオ・サミットから20年の成果と進捗状況を振り返り、
更なる行動と進展に関する協議を目指した国連会議。

<目的とテーマ>

①目的

- ⇒持続可能な開発に関する過去の主要サミットの成果の進捗状況と
残る課題についての評価
- ⇒持続可能な発展への新たな政治的コミットメントの確保
- ⇒新たに表れた課題への対応

②テーマ

- ⇒持続可能な開発及び貧困撲滅の文脈におけるグリーンエコノミー
- ⇒持続可能な開発のための制度的枠組み
- ⇒地方・国・地域・国際レベルのガバナンスの強化

日時: 2012年6月20日~22日

場所: リオデジャネイロ セントロ会議展示センター

* 関連して多数のサイドイベントが実施された。

1 ALNF(年次総会)

- :6月15日(金)13:00-16:00 於ウィンザーバラホテル
GCO側から年度の振り返りや今後の方向についての説明がなされ、各WGの活動事例紹介や海外子会社参画モデルの説明等があった。
*ナレッジシェアリングへの貢献でGCJNが表彰された。

2 CSF(Corporate Sustainable Forum)

- :6月15日(金)夕方から18日(月)夕方まで 於ウィンザーバラホテル
テーマ: Innovation & Collaboration for the Future We Want
- ・企業、投資家が、政府、地方自治体、NGO、国連機関等と会する機会。
 - ・100か国以上から2700名を超える参加者があった。(半数は企業セクター)
 - ・120を超えるセッションが以下のRio+20関連トラックごとに並行で開催された。
「エネルギーと気候」、「水とエコシステム」、「農業と食糧」、「社会開発」、「都市化と都市」、「持続可能な開発の経済」
 - ・テーマセッション: UNGC、国連機関、GCローカルネットワーク等によってオーガナイズされ、「行動を促すもの」、「システムチックな変革に大いに貢献できるもの」、「広く活用できるもので拡大展開に対しサポートができるもの」という条件の下で実施された。

2 CSF (Corporate Sustainable Forum)

:GC-JNからは、次の①、②での発信を実施。

① GC-JN単独での発信

100名規模のブースにて以下の内容で発信を行った。

- ・トラック: 社会開発
 - ・タイトル: Activities and challenges to promote innovation for sustainable development
 - ・フォーカス: 人口70億人の近未来の地球におけるサステナブルな社会を「食とICTと金融」の観点から模索する。
 - ・日時: 6月18日(月)09:00から10:30(90分)
 - ・対象: UN機関、他LN、民間企業、NGO、政府関係者、アカデミア
 - ・狙い: 発表と意見交換を通じた知見の共有と深化
 - ・発表者と発表内容:
 - GC-JN: 有馬代表理事(冒頭ご挨拶)
 - 味の素様; 国本副社長様「SOLUTION FOR THE FUTURE WE WANT」
 - 富士通様; 伊藤顧問様「Sustainable Society and ICT」
 - 損保ジャパン様; 佐藤会長様「Sompo Japan Insurance's Approach toward Resilient & Inclusive Society」
- ICU毛利先生モデレートによるQ&Aセッション

2 CSF (Corporate Sustainable Forum)

② 他の企画に参加した発信

・損保ジャパン 関様

；セッション: Towards a Green and Resilient Economy:
Addressing the Climate-Water Nexus (6月16日 4時～5時半)
climate-water nexusに関する各参加者による講演(7分間)と
Roundtable discussionsが実施された。

・GC-JN事務局長

；セッション: Discussion on The Role and The Benefit of Voluntary Actions
and Programs (6月17日 9時～10時半)
インドネシアLN主催のセッションに日本、オーストラリアLNが参加
した。GC-JNは、震災復興CAを事例として紹介した。

3 BASD2012

:6月19日(火) 於ウィンザーバラホテル

LEAD等特別の貢献をしている企業が招待され事例発表等がなされた。

*BASD 2012(Business Action for Sustainable Development 2012)

⇒ WBCSD, ICC, UNGCにより設立。産業界のメジャーグループのコーディネーターとしての役割を担う。

①午前セッション: 業界毎(農業・セメント・化学・消費財・エネルギー・原材料・石油/ガス・運輸)の対話。

テーマとしては「エネルギー」、「食糧」、「安全」、
「グリーンエコノミー」、「包括的ビジネス」、「CSR報告書」、
「国際的なガバナンス」、「持続的発展に対するポリシー枠組み」、
「持続的発展における技術」、「都市化」、「水」について。

②午後セッション: 持続的開発に関するマルチステークホルダーによるディベート。

③レセプション: 低所得層への貢献やMDGsへの貢献をした企業等に対し表彰を実施。